

# 獨協医科大学 附属看護専門学校 同窓会

## 杏の会

第3号

### 第Ⅱ期会長に就任して

同窓会長 増山 和子

同窓生の皆様におかれましては、各分野で日々御活躍のことと存じます。

この度、「杏の会」第3号誌に、はからずも第Ⅱ期会長として御挨拶を申し上げる機会を頂きました。身に余る光栄と、同窓会設立



に御尽力戴きました奥田前校長始め、関係者の皆様に心から敬意と感謝申し上げます。

お世話になった獨協より現在の職場に戻りまして、16年の歳月を経ている私にとりまして、母校や同窓会は懐かしい故郷でもあります。

過日行われました第3回総会には、関光前看護部長も御来賓として遠路御出席下さり、懇親会では、開学当時の御苦労や懐かしい思い出話を同窓生は皆、瞳を輝かせて拝聴させて戴きました。

着々と築かれた伝統の中で育まれ巣立った同窓生としての絆が一層深まった一日でした。今後もさらに親睦の和を広げ、微力ですが母校の発展のお役に立てるよう願って、挨拶にかえさせて戴きます。

### 助け合い、高めあう絆

同窓会副会長 松本 規子

今回第Ⅰ期に引き続き、副会長を務めることになりました。発足当初より同窓会の運営に関わり、改めて20年の歴史の重みを感じております。



第Ⅰ期では、豊田前会長をはじめ、役員や運営委員とともに、どのように運営していくかを模索しながらの過程であったと思います。そして、会員名簿や会誌が発行され、会の運営に必要な会則も整ってくると、まさに今その活動方針である“同窓会としての運営を軌道にのせる”の第1歩なのだと思われ喜びも感じられました。初めてのことであり、大きな組織づくりに関わることなどより、戸惑うこともたくさんありました。その度に様々な方々にご指導を戴き、支えられたことに改めてここに深く感謝致します。

第Ⅱ期では、増山会長のもと、同窓生の絆がさらに深まり、お互いに助け合い、高めあうことができるよう微力ですが努力していきたいと思えます。

## 会員名簿作成委員会

夏から秋にかけて私達会員名簿作成委員 4 名 羽石幸子・飯野佳美（7 回生）、稲葉孝子・柏崎ひろみ（10 回生）は、日頃御無沙汰の看護学校に何回となく足を運びました。

今回、この名簿を作成するに当たり卒業生がもう既に1600名以上を越え、私達自身も学校を卒業して10年以上が過ぎました。同窓生の行く先はさまざまであり、ただお互いに共有しているのは3年間をここで過ごしたという思い出です。一期一会と言ってしまうそうですが、こうして新たに出来上がった名簿を見ると、その時の友人の顔が浮かび感慨に浸ります。

今後も同窓会名簿は、会員の皆様の親睦が深まり同窓会の発展に繋がればと思います。



## 会誌作成委員会

私たち会誌作成委員は、関口和子（9 回生）、神山奈津江（12 回生）、坂入輝江（13 回生）の3名で構成されていますが、影の支配者（うそです。縁の下の力持ち）である看護学校の松本先生に多くのアドバイスを頂きながら活動をしています。活動場所は、看護学校の教員室を借りて、9月から月に1度くらいの割りで集まっています。主な活動は、会誌の内容・構成・企画の検討、原稿依頼、原稿のワープロ入力などです。12月中旬より印刷業者に依頼し、3月迄に、会員のみな様にお届けできるように努力しています。一番の苦勞は、どんな内容にするかなどの企画の段階です。



多くの会員の方に目を向けて頂けるような興味深いもの、また、目を細めて懐かしく思えるような写真を探しています。

## 会則検討委員会

会則検討委員会について紹介します。構成メンバーは、委員長松本ミヨ子・委員桜井京子（5 回生）、アドバイザー大前旬子の3名です。



仕事内容は、必要となる会則・細則を検討し、運営委員会、総会の承認を得て、改正・改訂を行っています。現在までに承認を得ているのは「同窓会会則」「慶弔に関する内規」「表彰に関する内規」「役員・運営委員・小委員会の任務と業務」があります。また現在検討中のものもあります。

今後も同窓会が円滑に運営できるよう活動していきたいと思っています。広く会員の皆様からの御意見を待っています。

## 社会福祉委員会



社会福祉委員会は、発足2年目を迎えました。会員の皆様の御協力のおかげで、各方面からロータスクーポンが届けられ、昨年度の収集点数は、

4189点でした。活動1年目の結果としては良かったと、委員一同感謝しております。以前大学病院に勤めていた方や通院中の患者さん達からも、ポスター掲示をみて、御協力いただきました。

今年度の委員は、稲葉孝子（5 回生）、大島友子（6 回生）、須川妙紀（11 回生）、上野恵美・中村陽子（15 回生）5 名です。59000点の車椅子を目指して、今年度は10000点を目標に活動していきたいと思っています。ロータスクーポン回収袋は病院内の各掲示板と医療相談部にあります。郵送の場合は事務局をお願いします。

## 第3回同窓会総会

### 並びに懇親会行われる

同窓会事務局

去る6月10日(土)、多くの皆様のご協力を戴きまして、看護専門学校第5番教室において第3回同窓会総会を開催いたしました。名誉会員の関光先生をはじめ特別会員の方々のご出席も戴き大変嬉しく思いました。

今回の総会では、第2期役員を選出や会費に関することなどの会則改正についてが主な議題でした。第2期役員は以下のとおりです。

会長：増山和子、副会長：松本規子

事務局長：南條珠江

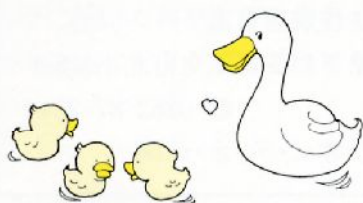
総務：小杉京子、佐藤君江、湯本雪江

会計：大前旬子、樋口広美

会計監事：石川千賀子、小貫美智子

会費については、終身会費と決まりました。早速、納入頂きますよう活動してまいりました。未納入の方は、ご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。引き続き行われた懇親会では、関先生より学院開学当時の話を聞くことができ、出席者一同しばし懐かしく胸が一杯になりました。あっという間に時間が過ぎてしまい、来年に思いを馳せながら閉会することになりました。

今後とも皆様方の一層のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 門出にそえる華

第5回生 松本ミヨ子

私達5回生は、卒業して14年たちます。そして、ナースのシンボルであるナースキャップをかぶり15年、あっという間に過ぎてしまいました。



白衣の天使にあこがれ、キャップを頂いた時の新鮮な気持ちは、今でも思い出されます。しかし、年月がたつにつれ、私達の後輩が次々と育ち、私達が寄贈した式典用のテーブルクロスは、年に一度、後輩の旅立つ門出に華をそえてくれていると思います。誰でも一度は、迎える戴帽式は、忘れることはないと思います。そして、私達の贈ったテーブルクロスも。現在、大学病院に残っている5回生は、数える程しか残っていませんが、後輩の育成のために、テーブルクロスと共に力をかけてあげようと毎日、頑張っています。



渡邊暎子先生「看護大会知事賞」受賞

宮本郁枝先生「看護大会長賞」受賞

平成7年5月14日、第9回栃木県看護大会において、渡邊先生は、永年に亘る地域保健医療への貢献と看護の発展への功労・功績が称えられ、「知事賞」を受賞されました。また、宮本先生は看護の発展と看護協会役員としての功労・功績が認められ「大会長賞」を受賞されました。お二人の栄えある受賞を心よりお祝い申し上げます。



現在のおもちゃのまち駅

## ナイチンゲール誓詞

第6回生 大島友子

卒業記念品コーナーに思い出やエピソードの執筆依頼がありました、私達が卒業記念品として何を送ったのか思い出す



ことができませんでした。依頼された封筒に「ナイチンゲール誓詞の額縁」とあり、早速同級生に電話をかけ、思い出やエピソードはないかと情報を集めました。「忘れちゃった。」「思い出せない。」という声が聞かれました。元学院長の故磯田仙三郎先生に依頼してナイチンゲール誓詞を毛筆で書いて戴き、額縁におさめ記念品としたことがわかりました。看護学校を訪れ、私達の記念品を改めて目の当りにした時、戴帽式の為にナイチンゲール誓詞を一生懸命に覚えた当時の事がなつかしく思い出されました。

## 求む記事

会誌作成委員会では、会員の皆様の知りたい情報や楽しい企画を募集しています。また、獨協で過ごした学生時代の思い出や看護婦として働いていた時の思い出などエッセイにしてみませんか？

あの人は今・・・なんて言うリクエストがありましたら、どんどんお寄せください。

## 獨協今昔物語



おもちゃのまちの駅舎ができた昭和45年の頃の写真です。まだ、獨協の下の字もありません。タヌキが住んでいたと言うのは満更、嘘ではないようです。

## =卒業生の活躍=

## 充実した日々

みなと荘看護婦 桜井洋子

現在私は、老人保健施設みなと荘で働いています。看護学校を卒業し臨床での3年間は、私の看護技術、知識を高める為の時期であったと同時に「看護婦って何だろう？」と疑問に思っていた時期でもありました。



その疑問は、みなと荘で働き始め、消えました。ここには看護の本質があるのです。入所者を通し福祉、地域との関わり、家族とのつながりの大切さ、難しさを肌で感じる事が出来るのです。住み慣れた家で生活できない矛盾の現実を前に、落ち込む事もあります。が、入所者にとって残りの人生、生き甲斐を持ち続け、人間らしく生活出来るよう、また家族にとっても悔いなく介護が出来るよう指導する事が私の役割のひとつと思ひ、充実した毎日を送っています。

(第I部9回生)

## 編集後記

これまでの“記念誌”的な内容から、今回の第3号では、実際の活動報告により同窓会への御理解を頂き、なおかつ、興味深く読んでいただけたらということテーマに、編集していきました。十分ご覧になり、そのあとは、余白を計算用紙がわりにするもよし、写真にひげをつけるもよし、最後の最後までお楽しみ頂けたら幸いです。

同窓会誌「杏の会」第3号

発行年月日 平成8年2月20日

発行 附属看護専門学校同窓会事務局

発行責任者 事務局長 南條 珠江

編集 会誌作成委員会

〒321-02 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

☎ 0282-87-2244

印刷 (株)松井ピ・テ・オ・印刷